



# 九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会  
 発行責任者 佐川愛子  
 ☎ nara9jyonokai@gmail.com  
 ☎ 090-9885-9756  
<http://blog.goo.ne.jp/9naranet>  
<http://www.nara9jyonet.com>  
 44号 2020年9月10日発行



8月6日・9日に平群の里に、「平和の鐘の音」が響き渡ります。平群市民からの平群町への申入れを受けて、毎年、平群町が各寺院に要請し、それに応える寺院が、参拝者と共に鐘を鳴らしています。子供たちや若者も参加し「平和を願う」行事が行われています。

九条の会奈良県ネットワークへの2020年度の協力金をお願いします。  
**送付先**：ゆうちょ銀行  
 記号14530 番号27006271  
 九条の会奈良県ネットワーク

## 九条の会奈良県ネットワーク主催「学習交流会」ご案内

日時：9月29日（火）13：30～16：30 会場：奈良教育会館4階大会議室

学習会の内容：1部：学習会

講師：池田 順作氏（九条の会奈良県ネットワーク運営委員）

講演タイトル：「**新政権は安倍政治の忠実な後継者**」 —安倍政治の8年を解剖する—

2部：交流会

安倍首相の体調不良が理由の突然の辞任に国民の同情を煽るマスコミ報道も加担し、これまで安倍政権が行ってきた「日本を滅亡させる」悪行の数々が帳消しにされようとしています。国民無視の談合政権は安倍政治を継続、しかも「自助・公助・共助」のスローガンに表されている自己責任と新自由主義を一層すすめる政権です。コロナで傷みつけられた国民の健康と暮らしなどはほとんど重要視していません。

交流では、

- ① 改めて安倍政治の総括を行います。
- ② 次期政権安倍政治継承者は、改憲の強行を立候補の決意で述べています。安倍改憲阻止の草の根からの運動をどう広げ進めていくのかについて交流します。

**平城ニュータウン九条の会**は長崎に原爆投下されてから75年目、8月9日に高の原駅前でスタンディングを行いました。通路の両側に広島・長崎の被爆当時の写真を掲示し、通行中の市民の皆さんに訴えのスピーチを行いました。「核をめぐる状況は過去最悪です。トランプ大統領は新戦略兵器削減条約を破棄するとしており、再び核軍拡競争の再燃です。安倍政権は、一刻も早く核兵器禁止条約を採決、批准し、唯一の被爆国としての使命を果たすべきです」と訴え、90歳の被爆者が語った「黙ってじっと座っても平和はむこうからやってきてくれません。一生懸命手繰り寄せて、掴んで、守らないと平和なんてものはうたかたのごとく消えてしまう」言葉を紹介し、若者や子ども達のために憲法9条を守る事の大切さを訴えました。通行中の小学生が「今日は長崎に原爆が落ちた日や」と言いながら、写真に見入っていました。若い人も、写真をじっくりと見ていました。36度を超える灼熱の中でのスタンディングでしたが「やって良かったね。若い人が関心を持って見てくれていたね」と集まった8人のメンバーは大人の責任を果たし心も弾みました。

## 8月9日長崎デー 平和の波行動 生駒九条の会

被爆75年「長崎の日」、原爆が落とされた11時2分、全員で黙とうのあと厳しい暑さの中で“平和の波行動”のスタンディング宣伝を行いました。署名はテーブルを置いて実施、カンパを寄せてくれる方もありました。（本日の駅での募金は5,831円、ありがとうございました）西教寺での“平和の鐘行動”のあと合流された方も3名あり、合計17名の行動でした。コロナ禍の世界中で命を守る行動をしている中、「核兵器はいらない！」「日本政府は禁止条約に批准せよ」と声をあげました。“広島の日”8月6日の夜、批准国がアイルランドなど3カ国増え、発効まであと7カ国、一気にいきそうに励まされます。母親連絡会から赤紙80枚を配付し不戦も訴えました。



奈良市九条交流会が8月29日「富田宏治さんと語る会」を行い、45人。

前日の28日安倍首相が体調不良で突然辞任。翌日の講演では安倍政権が行った悪政の数々と展望についての講演でした。

1, アベ政権最長連続在職期間、衆参両院が3分の2を持っていたにも拘わらず、悲願の改憲が入口にすら立てなかった事。改憲の機は熟していたのに世論が怖く国民投票に負けると判断し強行採決が出来なかった。

それは、九条の会始め運動に努力を続けてきた市民の声、活動が阻んだ。

2, 2015年安保法制反対のたたかい以降、市民と野党の共闘が発展、野党連合政権を目指す動きが高まる。立憲民主党と国民民主党の新党合流は、綱領が民進党とは違うものになった。原発ゼロ、新自由主義一掃、弱者に優しい再分配の論理となっている。

3, 我々は総選挙に備える事が大事。

コロナ禍でいろんな事に気づいた。コロナによる死亡者が80万人を超える。肌の色や格差による差別が生じている。世界は変わりつつある。共同と連帯、命の重みや個人の尊厳が謳われている。核兵器・環境問題・パンデミックは乗り越えられる。

安倍政権の無策、新自由主義の失敗も明らかになる。貧困格差、民営化による医療現場や保健所の機能不全、8月でもPCR検査が受けられない市民の悲鳴、不十分で届かない補償、専門家の意見を聞かずに全国一斉休校、アベノマスク、GO TO トラベル、科学的根拠を示さない政府への不信感。何を信じていいかわからない不幸。スポーツ新聞に「安倍ふざけんな」の記事。支持・不支持ではなく、こんな政権抱いている事不幸・怒りが背後にある。

市民連合が共通政策を提起している。市民連合の共通政策として、「核兵器に批准する。消費税減税」などがある。野党連合政権を展望できる情勢にある。

8月16日(日)、白檀9条の会主催「終戦記念日映画会」を開催しました。昨年は「母べえ」を上映しました。今回は酷暑のなかでの映画会となりますので、納涼気分で見てください。高倉健さん主演「遙かなる山の呼び声」を上映しました。倍賞千恵子さんが一人で世話をしている牧場に健さんが突然現れ、夕張の雄大な牧場が舞台となります。映画の終わりのシーンが観客の胸を打つすばらしい映画でした。16人が参加され、カンパを13000円いただきました。参加された白檀9条の会の皆様に感謝いたします。来年も良い映画会となるように企画したいと思います。白檀9条の会 世話人・岡崎邦夫



広陵9条の会で毎月恒例の19の日宣伝・署名行動を8月19日(水)、商業施設エコーラマミの2階南館/北館連絡通路で朝9時45分集合、10時半まで行いました。暑い中、10人が参加しました。両側のフェンスに約4mの「若者を戦場へ行かせない」の横断幕と模造紙1枚の「コロナの今こそ憲法生かせ!」のステッカー、奈良広陵9条の会の幟を2本立て、首から「アメリカの兵器爆買をやめコロナにまわせ!」「憲法変えるな政治を変えよう!」「もう限界、憲法無視のアベ政治」などのアピールボードをかけて、マイクを使っての訴えとビラ配布、「改憲発議に反対する全国緊急署名」を行いました。

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない中、皆さん用心してビラの受け取りや署名はさけて通るのではないかと心配しましたが、予想に反してビラの受け取りも良く110枚がほぼなくなりました。署名も最近では最も多く21筆が集まり、ビラを受け取った人の5人に1人が署名に応じてくれたこととなります。安倍内閣のコロナ対応や危険な敵基地攻撃能力保有の動きなど、この内閣ではとても国民の命は守ってもらえないと感じている人が増えているのでは?潮目が変わり始めているのでは?と感じました。